

私立大学医学部における復職支援 を含む女性医師支援の取り組み

東京女子医科大学・東京医科大学・帝京大学・東京慈恵会医科大学での実践紹介

女性医師が積極的にキャリアを積み、医師として社会に貢献し続けることを可能にするために、現状では支援が必要です。

本シンポジウムでは、私立医科大学で積極的に取り組みをされている3大学の先生方をお招きし、復職支援を含む実践例をご提示いただき、今後どのような取り組みが必要かディスカッションを行います。

平成27年 2月7日 (土) 14:30～16:30

大学1号館 6階講堂

【プログラム】

- 学長挨拶 14:30～14:40
松藤千弥 (東京慈恵会医科大学 学長)
- 院長挨拶
丸毛啓史 (東京慈恵会医科大学附属病院 院長)
- リサーチマインドをもった総合診療医養成の事業の紹介 14:40～14:50
大野岩男 (東京慈恵会医科大学 総合診療内科 教授)
- 4大学における女性医師支援に対する取り組みについて 14:50～16:10
野原理子 (東京女子医科大学 ファミリーサポート室長)
大久保ゆかり (東京医科大学 医師・学生・研究者支援センター長)
野村恭子 (帝京大学女性医師・研究者支援センター室長)
川瀬和美 (東京慈恵会医科大学 女性医師キャリア支援室 副室長)
- ディスカッション 16:10～16:30
～女性医師支援に対し今後の取り組みに必要なことは何か～

